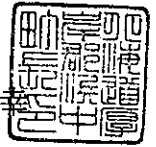


地 ま 浜
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 様

浜中町長 長谷川 徳 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

先に提出依頼のありました標記について、別添のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

まちづくり課地域振興係
電話 0 1 5 3 - 6 2 - 2 2 3 7
FAX 0 1 5 3 - 6 2 - 2 2 2 9

国は高度経済成長時代を見越し道路政策により、国土の全域にわたり道路整備を進めてきたため、相当の整備が進んでいるところでありますが、北海道の道東方面は広域な市町村が多く、特に地域間の道路整備に至ってはいまだ良好な整備状況とはいえない現状にあります。

この間、道央と地域を結ぶため、高速道路の整備が進められているところではありますが、道路特定財源を投入して進められた道東高速道も足寄から釧路へ向かう分岐点までしか整備が進んでおらず、釧路に繋がる路線整備を一刻も早く展開していただきたいと思います。

また、道路新設についての議論はいろいろ意見が分かれるところではありますが、道路の維持管理を含め地域生活の充実や、産業振興のために道路整備が進められることは永久の課題でありますので、道路特定財源が一般財源化されたとしても、道路財源を安定的に確保されますようお願いいたします。

○現状

釧路根室間を結ぶ国道 44 号線は都市間を結ぶ道路として、また、周辺町村の基幹道路として生活、生産、観光面さらには緊急医療時の搬送に利用されておりますが、カーブが多く幅員も狭隘で高速輸送路としての機能に難があります。

道東地域の生活、産業の振興発展にも早期の道路整備を進め、食料基地北海道の役割を高めていかなければならないと考えます。

また、地域事情による要望としてですが、当町は海から拓けた町であり、過去に２度の大きな津波災害に遭っているため、地震即津波が心配されるところであります。

高台への避難路は生活、生産、観光などの幹線道路でもあり片側１車線のため、警報のたび避難する車両が集中し渋滞をひき起こし、防災、非難道路としての機能が著しく欠けている現状にありますので、早急な対策が必要と考えます。

○課題

国道 44 号線は一国も早く現路を活用した整備を進め、生鮮食品の市場供給、緊急医療時の搬送体制確保など、道路行政の重要性を鑑み、地方であっても安心して快適な道路整備を進めなければなりません。

また、浜中町特有の地域事情としての避難路ですが、高台への避難路確保のため、主要道路の２車線化と避難路の新設など現在ある路線の見直しを行い、災害に対する道路整備を進めなければなりません。

北海道は日本の食料供給基地としての位置づけが大きく、全てにわたって食糧生産物の供給が行われております。

水産物であっても農産物であっても、安全安心な製品の供給のための生産地域として広域な地を利用した体制が進められてきました。

先般、アメリカの BSE 発生による牛肉への不安、毒物混入による中国からの輸入食品の安全性などが取りざたされており、まさに安全な食品は北海道を筆頭として国産のものにしか生まれてこないという意識が改めて国民に再認識されているところです。

この機会を逃すことなく、北海道地域の製品がさらに安心、安全な製品であるよう供給体制を確立するためにも、より高規格な道路の整備と生産者、消費者が安心して暮らせる地域を目指していかなければならないと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道浜中町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・災害に強い地域づくり	・国道 44 号の効果的・効率的な整備 ・津波災害時の避難路の確保		